

祝 卒業

3月1日、55名の生徒が雄勝高校を卒業します。

卒業生の皆さんのお仕事のご活躍と
ご多幸をお祈りします。

平成二十九年・酉年になり、早くも三ヶ月が経ちました。生徒の皆さん、昨年はどの様な一年でしたか？一年生の皆さん、不安を抱きながらも期待に胸を膨らませ入学し、今では仲間も出来、色々な経験をし、楽しく過ごしていることと思います。

二年生の皆さん、一年生の時の経験を生かし、今では何事にも進んで行動出来るようになったことを思います。

そして、三年生の皆さん、進学・就職に準備を進めていること何気なく過ごしているこの一日、そして一年は、私たちにとって最も大切なことだと思います。自分の意志で「泳いで生きるか、流されて生きるか」で将来が変わつてしま

新しい春を迎えるにあたつて

PTA会長 高橋

議

春の桜、夏の青葉、秋の紅葉、そして純白の雪に覆われた雄勝の冬にも、再び春の訪れを感じさせる兆しを感じるこの頃です。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生の多感な時期を過ごした学び舎や友との別れの時、そして今まで慈しみ育ててくださった保護者の皆様からの自立の時でもあります。皆さんのがこれから的人生に幸多かれど、また、常に希望を持ち自分の足で歩んでほしいと願っております。

さて、青春まつた大中にある雄勝高校の皆さんたちが、志をもって日々努力していることはいつたい

に結果であり、本当に大切なのはいかにしてそこへたどり着いたか。そしてその失敗をどう生かすかです。そうすると人生において得ることが大きいにあるという点では成功となります。過去の失敗を踏み台として工夫を重ねたり、また新たな目標を立てたりと対応はまわるでしょうが、そこで立ち止まらない限り人としての成長が終

「勝高生魂」の継承

校長 佐藤 緑

勝高だよリ

立校部 A

わることはありません。NHK大河ドラマ「真田丸」で真田信繁がこのように言つていました。あきらめなかつた者にのみ道は拓ける」と。

卒業にあたつて

ながら、生徒会活動を進めることが
でき、いい体験になりました。
つまりながらも、仲間とともに歩き続けられた三年間を大切にしていきたい
ながら、新しい道を歩いていきたい



最後に「総統は力」にならなくては弓道を通して多くの先生、友人を員として学校行事やボランティア活動に参加させてもらいました。誰かのために働くことが楽しくまた多くの人たちと関わり行動することで、入学した頃より少し成長したのではないかと感じています。

今年度は会長として、役員をまとめながら受験準備もあり、学校にいる時間がとても長くなりましたが、教室から生徒会室、職員室への道を何度も歩きました。その途中で巨省点や改善点、打開策を考えるところが楽しみになってしまった。忙しい時期がありましたが、自分の力を高め持ちました。社会に貢献しているとうに感じます。卒業生一人一人が選んだ学問、仕事も同じです。継続が生活を豊かにすると想います。

歩き続けた三年間

私はこの二年間、様々なことに取り組んできました。勉強や部活動、徒会活動、学校行事など、本当に数多くのことを経験しました。その中で振り返って感じたことは、どんな時も近くに支えてくれる人がいたことです。そのことを特に実感したのは受験の時だと思いました。勝高祭も終了し、クラスでは他の人は既に進路が決まっていました。私の受験日の関係で仕方のないことでしたが、周りの雰囲気に不安とプレッシャーを感じていました。友達や家族、先生方にも八つ当たりをして、かなり迷惑をかけてしまいました。それでも見放さず、励まし、支えていただいたおかげで、私は夢に近づくことができました。

この三年間で、かけがえのない思い出がたくさんできました。つらく苦しむこともあったけれど、最後は全員で笑顔で卒業したいと思います。

私たちの周囲は日々変わります。あることとずっと変わらないこと、バランスが保たれています。その両方をうまく折り合いをつけ、失敗を生かして粘り強く物事に取り組むことで、それぞれの人生を切り拓いていく強さを身につけていただきたいと願っています。

進路を決定しての卒業を喜ぶとともに、御協力いただいたPTA・地域の皆様方に御礼申し上げます。卒業される皆さんに「仁の心と礼法」について伝えます。生涯体育である弓道と接し、様々勉強する中で、「孔子・儒教・礼記」が登場します。「仁」は、相手のために精一杯尽くす心、思いやりです。礼に始まる「礼」ですが、知らないと特別な催し事、場所によつては恥をかいてしまいます。接する相手に礼を尽くす事が社会人として大切な事です。これが日本文化や武道の根本からです。

学習面では、成績が企業に送られるため、少しでも成績を上げられるように頑張りました。また、一番苦労したのは直接練習でした。人前で話すことや、言葉で伝えることが苦手で、何回もやり直しをしました。そのおかげで、無事に内定をもらうことができました。

この三年間で、様々なことを乗り越えて、前より強くなれたと思います。たくさんの人と関わり、充実した高校生活が送れたことに感謝したいと思います。

くなれば！」と言つてスタートしましたが、今年は有効求人倍率の増加により、県内就職試験では一回目の応募で希望者全員が内定するという「快挙」であり「異常事態」となりました。これも二年生から継続してきた就職基礎ドリル学習や、三年生での面接練習のおかげだと思ひます。

高校生活を振り返つて
と思います。